

ご質問・VEご提案・見積依頼など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



特殊基礎工事

第238号

新技術情報

令和8年3月



〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号
[URL] <https://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

海上仮栈橋構築工事



本工事は、海上における栈橋の構築を目的としたものです。

施工にあたり、下部工では組立台船を作業足場として確保し、超高周波可変式バイブロフォンサーを使用することで鋼管支持杭(杭長39.0m～47.5m)の打設を実施することができました。本工法の採用により水が有る環境下でも安定した施工が可能となり、従来工法と比較して施工時間の大幅な短縮を実現しています。

また、上部工では超ロングスパントリアス橋を架設することで、船の通行を考慮し、最大44 mの長スパンを確保できる構造となっており、径間数を削減することで支持杭本数を低減し、水上作業量の低減と工程の合理化を図り、結果として全体工期の短縮につながっています。これらの技術的工夫により、安全性を確保しつつ施工効率を高め、結果として全体工期の短縮を実現しております。



元請 西松建設株式会社 様より、コメントを頂戴致しました。

横断道津田大橋下部P3建設工事において、御社には全長803mという前例のない大規模な仮栈橋を2年3ヶ月に渡り全工期無災害で完成させていただきました。まさに全社対応により本工事の工程遅延リスクを大幅に縮減し、事業全体の早期完成に多大なる貢献をしていただけたことに大変感謝しております。強風の日が多く、連日の猛暑にもさらされながらの非常に厳しい作業環境において、高い技術力と安全意識により素晴らしい業績をあげて頂いたことに改めて御礼申し上げます。

河川浚渫工事への取り組み

弊社では、河川環境の保全および治水安全性の向上を目的として、浚渫工事を実施しております。今回の浚渫工事では、高知県より弊社独自の特殊機械である【水陸両用掘削機】を奈良県下において活用し、組立台船を併用することで、掘削土砂の揚土・搬出作業を安全かつ円滑に行いました。河川に土砂や漂流ごみが堆積すると流下能力が低下し、豪雨時には氾濫リスクの増大につながり更に、水質の悪化や水生生物への影響など、環境面での課題も生じます。これらの課題解決および災害防止の観点から土砂を除去する浚渫工事を定期的を実施することが重要と考えております。弊社は、ダムや河川の掘削・維持管理を通じて水の流れを改善し、災害に強い安心・安全なまちづくりに取り組むご提案を継続しております。



2025年度高知大学／JICA課題別研修「持続性と強靱性確保のための防災（島嶼国）」コースの講義および視察

弊社は、2025年度高知大学／JICA課題別研修「持続性と強靱性確保のための防災（島嶼国）」コースの講義および視察の一環として、アジア地域（フィリピン）、大洋州地域（トンガ・バヌアツ）から来日された研修員の皆様にご訪問いただきました。

本研修は、JICA四国センターと高知大学が連携して実施する国際研修事業であり、開発途上国の国づくりを担う行政官や大学教員等を対象に我が国と参加国に共通する防災課題について相互に学び合うことを目的とした、我が国のODA事業の一つです。

島嶼国において特に甚大な被害が発生しやすい地震・津波を起因とする災害や台風等による風水害を主な対象としております。わが国における産・官・学が連携した防災対策について講義および視察を通じて理解を深めていただくとともに研修員の皆様が自国における防災上の課題を整理し、その解決に向けた具体的方策を検討することを目的としてODA事情を実施されております。

弊社がこれまで取り組んできた地震・津波をはじめとする自然災害関連工事の実績や防災製品の開発に関する取り組みについてご紹介させていただきました。今後も弊社は、培ってきた技術と経験を生かし、国内外における防災・減災への貢献に努めてまいります。



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。